

【5月下旬刊行】

関連棚：茶道・伝統文化・文化経済学



茶道の文化経済学

A5判 並製216頁 本体2,700円 太田直希著 ISBN978-4-88065-565-9 C0030

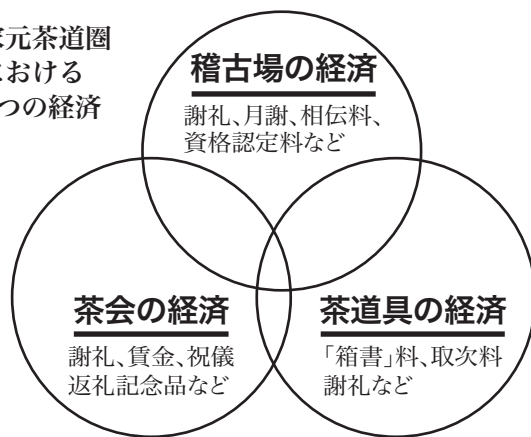
限られた蓄積しかない文化経済学のフロンティア——伝統文化。
家元茶道が持つ高度な知的体系を“稽古場 茶会 道具”の3つの経済から
解き明かし、広い経済圏、巨大な内需市場が形成されていることを示す。

茶道文化に限らず伝統文化が経済的分析を嫌うことは珍しくない。そのゆえか、わが国の文化経済学における伝統文化の領域の先行研究は決して多くない。

本書は表千家講師でもある著者が茶道が社会的に研究対象あるいは政策対象としてどう認識されているか確認し、家元茶道の文化体系がどのようなものかを資料を交え解説。そして家元茶道圏における主要な3つの経済構造「稽古場」「茶会」「茶道具」から、巨大な内需市場構造の形成と市場について総括する。

文化経済学の課題とともに、家元茶道流儀人としての問題意識からも導かれ、文化経済学と家元茶道双方よりの示唆から成る意欲作。

家元茶道圏
における
3つの経済



- 第1章 文化経済学と茶道
- 第2章 家元茶道の文化体系
- 第3章 家元茶道圏と第3の市場
- 第4章 稽古場の経済
- 第5章 茶会の経済
- 第6章 茶道具の経済
- 第7章 結論

[巻末資料] 茶道の歴史年表、茶道関連用語集



*3つの経済圏のひとつ「茶道具の経済」の「箱書」システム

【著者】太田直希（おおた・なおき）同志社大学経済学部助教・同創造経済研究センター兼担研究員。愛知県岡崎市生まれ。京都大学経済学部経済学科卒業。同志社大学大学院経済学研究科博士後期課程博士学位取得修了。専門は文化経済学。日本文化の文化的・経済的な価値創造につながる活動をライフワークとし、京都を中心に茶道をはじめ幅広く文化を伝える活動を展開中。主要論文に、「日本の伝統文化と経済に関する考察」「書道の文化経済序論—茶道文化と対照して—」等。茶道表千家講師。



水曜社 東京都新宿区新宿1-31-7
☎03-3351-8768

Fax03-5362-7279

☐FAX中止

返品入帖可 取次：ト・日・RBN・JRC・中・教・鎌谷・全官報

新刊配本5月17日必着（以降は注文扱返条付）

| | | | |
|---------------|------------|-------------------------------|---------------------------------------|
| 書店印 【新刊委託】 | 水曜社 | | |
| | 注文冊数 | 文化とまちづくり叢書 茶道の文化経済学 | |
| 御担当 | 様 | 冊 | ISBN978-4-88065-565-9 C0030 本体 2,700円 |